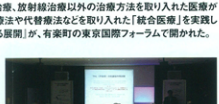
医療最前線レポート

検証！導入進む、がん統合医療
漢方で患者のQOLを向上

がん治療で、標準治療と呼ばれる、抗がん剤治療、外科治療、放射線治療以外の治療方法を取り入れた医療が広がりつつある。去る9月4日（日）、標準治療に加えて漢方療法や代替療法などを取り入れた「統合医療」を実践している医師によるフォーラム「がん統合医療の実際と新たなる展開」が、有楽町の東京国際フォーラムで開かれた。

国立台湾大学付属医院主任医師・郭文宏氏


熱心に耳を傾ける来場者

国立の台湾大学付属医院で検証

主催したのは、漢方と健康の情報を発信しているLLP漢方研究有識者会。がん治療に抗がん漢方薬を取り入れている台湾、日本、中国の医師から最新の情報が聞けるとあって、約100人の聴衆が会場を訪れ、熱心に聞き入っていた。

国立台湾大学付属医院主任医師の郭文宏（かく・ぶんこう）氏からは「天仙液による臨床試験の報告」と題する講演が行われた。

「天仙液」は世界各国のがん患者の間で広く利用されている抗がん漢方薬で、代替医療として効果があることから、より厳格な臨床試験で実証する為に、同大医院で6カ月以上にわたる治験が行われた。講演では、その高い治療効果が報告された。

銀座並木通りクリニック院長・三好立氏

北京振国腫瘍病院副院長・孫岑献氏

がんの標準治療は高い治療効果をもたらす半面、患者に副作用など大きな負担も強いる。また末期がんなど手の施しようがない状態になると標準治療では対応できなくなってしまう。

こうした状況は台湾でも同様で、天仙液の抗がん効果の検証と同時に、患者のQOL（クオリティ・オブ・ライフ＝生活の質）を維持することについても検証された。郭医師は、これまでの治療にうまく取り入れることで、従来以上の治療効果とQOLの向上が図れると述べた。

広がる統合医療への道

続いて、銀座並木通りクリニックの三好立（みよし・たつ）院長から、がん難民にならない方法や、代替療法などを取り入れた治療で、少量の抗がん剤で治療効果を発揮している例などが報告された。

中国の北京振国腫瘍病院の孫岑献（そん・れいけん）副院長からは、抗がん剤が海外の公的な機関で認可されている状況について報告があり、その後、来場者の多くは「天仙液」を中心に使用している人が多く、それぞれの治療に大きくなる真剣な質問が寄せられた。

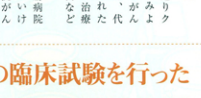
日本のがん患者は150万人以上（厚生労働省・2008年調査）で増加の一途をたどっている。死亡原因でもほぼ30年トップに位置する。日本の国内だけでもがん治療でも、標準治療による抗がん剤や放射線の副作用は大きな患者の負担と考えられ、大きな課題になっています。現在は、これまでの抗がん剤と天仙液を併用することによっても効果が出ていると考えます。

天仙液の臨床効果は？

率直にいって、乳がん患者への使用では、私たちの予想を超える素晴らしい効果が出ました。つまり、副作用が生じないという点で患者さん一人ひとりのQOLが向上しました。

乳がんは、ほぼ30年トップに位置する高齢化が進む、がん患者の多い疾患です。そうした時に半分以上の患者さんは代替医療を求めています。代替医療を信用していない医師もいますが、それに対して臨床的に実証していかなければならない。そういう点でわれわれは努力しています。

抗がん漢方薬の臨床試験を行った郭文宏氏（国立台湾大学付属医院主任医師）記者会見



郭文宏（かく・ぶんこう）

国立台湾大学医学院医学部卒業。
国立台湾大学付属医院主任医師、臨床准教授。専門は外科で、とくに乳がん治療を行う乳腺外科の第一人者として活躍中。

臨床試験乳がんだけで行われたのですか？

他病院での使用実績から乳がんにとく効くことが分かったのです。私たちの大学でも乳がんで臨床試験をしている現状もあります。細胞株や動物実験では肺がんや大腸がんなどの患者が増えている現状もあります。細胞株や動物実験では肺がんや大腸がんなどの効果も認められており、今後は他のがんでも検査を実施する予定です。

台湾大学付属医院のがん治療での漢方療法は？

台湾でも西洋医療が中心なので、入院している患者さんにはあまり使われていません。でも、末期の患者さんには一般的な治療法は代替医療を求めています。代替医療を信用していない医師もいますが、それに対して臨床的に実証していかなければならない。そういう点でわれわれは努力しています。

なぜ国立大学の付属病院で試験ができたのですか？

以前から民間では「天仙液」が広く使われており、効果が出ていました。台湾大学でも既に、細胞株や動物実験で効果を検証していましたが、正式に認可を得なければならない。それを実証していくために臨床試験をすることにしました。ただ、患者さんに使うわけですから、1年を掛けていろいろな問題をクリアにして着手しました。

同院では、これまでにほかの代替医療の臨床試験を行ったことは？

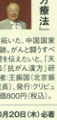
「天仙液」が代替医療の抗がん剤として初めての臨床試験です。二重盲検という検査法での許可をもらって行った唯一の治験です。

臨床試験乳がんだけで行われたのですか？

率直にいって、乳がん患者への使用では、私たちの予想を超える素晴らしい効果が出ました。つまり、副作用が生じないという点で患者さん一人ひとりのQOLが向上しました。

乳がんは、ほぼ30年トップに位置する高齢化が進む、がん患者の多い疾患です。そうした時に半分以上の患者さんは代替医療を求めています。代替医療を信用していない医師もいますが、それに対して臨床的に実証していかなければならない。そういう点でわれわれは努力しています。

「がんを治す新漢方療法」プレゼント！
10名様



世界的な「抗がん漢方」を拓いた、中国国家的医師の執念と感動の軌跡。がんと闘うすべての人に生きる勇気と希望を伝えたい。「天仙液」の開発者が自ら語る「抗がん漢方」研究生活35年の集大成。著者：王振国（北京振国中西医結合腫瘍病院院長）、発行：クリビュア、新書版・240ページ、定価900円（税込）。

■応募締切：2011年10月20日（木）必着
■インターネットにてご応募の方
http://www.shin-kanporyohou.com
新漢方療法 プレゼント 検索
■ハガキにてご応募の方
ハガキの裏面に、次の所定事項をご記入の上、ご応募ください。
①ご知らせ先お宛名（せせらぎ）
②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号
③「がんを治す新漢方療法」プレゼント希望
●お申込み先：〒220-0041横浜市西区戸部本町45-4 海クリビュア 書籍プレゼント係 まで郵送
※応募いただきました個人情報は書籍発送以外の使用は致しません。

LLP漢方研究有識者会
TEL 03-6661-6721
http://www.g-kanpo.com

関連ホームページ
http://www.tensen.com
http://www.shin-kanporyohou.com